

共働きの 幸せな かたち

「共働き夫婦の家計と幸福感」

吉田 千鶴 関東学院大学経済学部教授

「共働き世帯と大学生のライフコース選択」

前田 正子 甲南大学マネジメント創造学部教授

お互いの収入バランスや生活費の分配方法など、共働きゆえのお金にまつわる悩みを抱えているご夫婦は多いようです。もちろん、仕事や家事、子育てとの両立は依然として大変です。今どきの共働き夫婦は何に幸せを感じ、何に大変さを感じているのでしょうか。本講演会では、イメージだけで語られることが多かった共働き夫婦の実情を、調査データから多角的に検討します。

2014年12月8日(月) 15:00~17:00 【入場無料 / 開場14:30】

- 会 場：学士会館(202号室) ● 住 所：東京都千代田区神田錦町3-28
- 最寄り駅：「神保町」駅から徒歩1分 / 「竹橋」駅から徒歩5分

お申し込み方法

- 参加希望者全員のお名前(ふりがな)、ご住所を明記の上、Eメール、FAXまたは郵便はがきでお申し込みください。後日、入場整理券をお送りいたします。
※個人情報は当講演会の開催以外の目的には使用いたしません。
- 定 員：100名(お申し込み先着順)

お申し込み・お問い合わせ先

- 〒102-0073 東京都千代田区九段北2-3-7 前川九段ビル3階
公益財団法人 家計経済研究所 第50回公開講演会係
- TEL 03-3221-7291 ● FAX 03-3221-7255
- Eメール info@kakeiken.or.jp
- URL <http://www.kakeiken.or.jp>

講師のご紹介

よしだちづ

吉田千鶴 関東学院大学経済学部教授



慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。労働経済学、家族の経済学専攻。男女の就業、結婚、出産、家庭内での役割分担など家族に関する研究に取り組んでいる。執筆に参加した書籍『少子化時代の家族変容—パートナーシップと出生行動』は2014年日本人口学会学会賞を受賞した。

〔論文〕

「日伊の比較から見た夫妻の就業形態と出産意欲の関係—妻の短時間労働は出生力を上昇させるか」(清家篤・駒村康平・山田篤裕編著『労働経済学の新展開』慶應義塾大学出版会所収)

「子育てコストと女性の就業継続」(阿藤誠・西岡八郎・津谷典子・福田亘孝編著『少子化時代の家族変容—パートナーシップと出生行動』東京大学出版会所収) など

まえだまさこ

前田正子 甲南大学マネジメント創造学部教授



早稲田大学教育学部卒業。その後、公益財団法人松下政経塾研究員などを経て、1992年～1994年まで米国ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院に留学し、経営学修士を取得。この時、子連れで米国へ留学したことをきっかけに、帰国後1994年から2003年までライフデザイン研究所(現第一生命経済研究所)で、保育制度や子育て支援の研究を始める。その間に、慶應義塾大学大学院商学研究科後期博士課程修了、商学博士号を取得。2003年～2007年まで横浜市副市長として、教育・福祉・医療を担当し、こども青少年局を立ち上げる。2007年～2010年まで公益法人横浜市国際交流協会理事長を務め、在住外国人支援の基盤を強化。2010年より現職。また、2009年～2011年まで地域主権戦略会議構成員権限移譲担当主査、2011年～2012年まで社会保障改革に関する集中検討会議委員。

〔著書〕

『みんなでつくる 子ども子育て支援新制度』(ミネルヴァ書房)

『福祉が今できること』(岩波書店) など

会場のご案内

■ 学士会館 (202号室)

東京都千代田区神田錦町3-28

● 地下鉄都営三田線・新宿線

東京メトロ半蔵門線

「神保町」駅A9出口から徒歩1分

● 東京メトロ東西線

「竹橋」駅3a出口から徒歩5分

